

## 研究会（アンケート）の質問内容

### 質 問 内 容

Q 思考過程を説明するにはとても時間がかかるが、普段の授業でも同じ活動をしているのか。また、iPad導入前後で授業の進度には変化がみられたか。

A（各担任から）

- 文章題など単元の内容により、iPadを活用する方が効果的な場合のみ活用しています。（特に低学年は具体物を操作する活動が中心になるので、より効果的な場面を考えて活用しています。）
- 「タブレット端末活用シーン」や「ICT活用の記録」を作成し、それらを参考にして授業を進めています。
- やや遅れがちになることもありました。

iPad導入直後は朝学習の時間や休み時間、学級活動の時間などを活用し、支援員に協力をしてもらいながら操作に慣れる時間を確保しました。

しかし、それだけでは不十分な場合もあり、授業時間中に操作の指導を行う場合もありました。

またICTの効果的な活用法を探りながらの授業になるため、指導計画通り進まないこともありました。

Q 1年生で初めてiPadを配付して、操作に慣れるまでの指導には苦労はなかったか。

A（平成23年度）

- 夏休み前までは、ライズ社の「eライブラリ」しか入っていなかったのですが、他のアプリはほとんどありませんでした。「eライブラリ」は文章問題なのでひらがなの習得が終わり、また運動会の後で子ども達の生活が落ち着き始めた6月からiPadを使用しました。

最初は支援員にも協力してもらい、〈タップ〉〈ピンチイン〉〈ピンチアウト〉〈フリック〉などの基本的な操作方法や持ち方などのルールを指導しました。2～3時間繰り返し指導すると児童は、一人でどんどん問題にチャレンジしていくことができるようになりました。多少字が読めなくても、活用の仕方についてはすぐに慣れることができました。

9月からは、支援員に計算問題やお絵かきなどのアプリを入れてもらいました。基本的な操作方法を知っていたのですぐに慣れ、友達同士で新しい使い方などを教え合うこともできるようになりました。また、新しいアプリを見つけると学級全員で操作方法を確認しながら挑戦し、少しずつ使い方を広めていきました。

（平成24年度）

- 今年度は2年目ということもあり、4月の入学時には支援員が各教科ごと（国

語・算数・英語・絵本・お絵かき)のフォルダにたくさんのアプリを入れてくれていました。

入学して2週間たち学校に慣れてきた頃、支援員に協力してもらい、iPadの基本的な操作や持ち方などのルールを指導しました。また、入学当初から朝の準備と朝学習の補助に6年生が来てくれていましたので、水曜日のiPadを活用しての朝学習の時にも、iPadの操作方法やアプリの使い方等を、マンツーマンで教えてもらいました。おかげで、1年生の児童はiPadの基本的な操作にすぐに慣れることができました。

9月後半から、自分がかいた作品や、授業での考えを「iPadにかいて、保存する」「保存した物をDropboxにアップロードする」「Dropboxから、友達の考えを見る」ことに順次取り組んでいきました。アップロードのような難しい作業の時には、支援員とTTで指導を行いました。また普段の授業からペア学習を行っていたので、友達同士で教え合ったり、学級全員でやり方を確認したりしているうちに、難しい操作にも慣れていきました。

Q 宿題はどうしているのか。

A

- 現在はiPadの持ち帰りはしていないので宿題として活用することはありません。

Q 表現力を育てる方法を教えてほしい

A

- ICT (iPadや電子黒板)を活用することで、自分の思考過程を絵や図などを用いて、かきながら同時に言葉で説明することができます。  
また、修正がしやすい等のよさから、どんな方法で自分の思いを伝えようとするのかその手立ての選択肢が広がり、より効果的な分かりやすい表現方法を考えるようになります。

Q 学習時間の短縮について

A

- 授業時間の短縮が図られ思考過程や練習問題などの時間に費やすことができます。  
(例：自力解決後、iPad上の児童個々の考えをその都度Dropboxにアップロードし、そこから電子黒板上にあらわし、それを全員で共有します。)

Q 準備にかかる時間はどれくらいか。またどんな準備が必要か。(ハード・ソフト)

A

### ○ 3年生の授業の場合

公開授業には、電子黒板とiPadの双方向システムの機能（Docshare2）を使って授業を考えていました。しかし9月下旬Sketch Padというアプリを知り、算数の授業に大変効果的ではないかと考え、児童のiPadに入れてもらいました。そしてDropboxに入れた部品をSketch Padと電子黒板のコラボモードの機能に送り、iPad上と電子黒板上に同じ画面を作り上げることができるようになりました。（この時点で児童は使ったことがなかったので不安でしたが、Sketch Padが授業のねらいを達成するのに効果的なアプリだったため、電子黒板のコラボモードの機能とともに公開授業で使用することを決めました。）

#### 《児童側の準備としては》

- ・ Sketch Padの使い方の練習・コラボモードの使い方の練習 （1時間）
- ・ 毎週2回朝の活動時に練習 （10分）
- ・ 算数の授業時にSketch Padとコラボモードを使用

#### 《教師側の準備としては》

- ・ 算数の授業の時に使う部品・シートを作成し、Dropboxに入れる。  
↓
- ・ Dropboxから児童用のiPad上に部品・シートを読み込ませる。  
（この時は支援員にお願いしました。現在は児童がしています。）  
↓
- ・ Power Pointを使って、ヒントカードを作成する。  
↓
- ・ アプリHGViewにヒントカードを読み込ませる。  
（約1時間・慣れると短時間でできると思います。）  
↓
- ・ 授業の直前電子黒板のコラボモードにDropboxの部品を読み込ませておく。  
（5～10分）

### ○ 6年生の場合

- ・ 学級会で話し合ってみたいことの募集（プリントに記入）をする。  
↓
- ・ 司会グループ（3名）と議題の選定をする。 【課外】  
↓
- ・ 各自の考えを書き込むノート、振り返りのノート（Evernote使用）を作成する。 [IWP用PC・iPad]  
↓
- ・ 議題を紹介し、iPadを使ってノート（Evernote）に自分の考えを書き込むよう伝える。 【帰りの会等】

- ↓
- ・ 各自の考えをノート（Evernote）に書き込む。 【課外】
- ↓
- ・ 話し合いで、ノート（Evernote）を見て、お互いの考えを確認する。 【学級活動】
- ↓
- ・ 話し合いの途中で必要に応じて、ノート（Evernote）を作成する。  
[IWP用 P C ・ iPad] 【学級活動】
- ↓
- ・ 話し合いの最後に、振り返りのノート（Evernote）に感想・反省を書き込む。 【学級活動】

**Q BeeDanceについて**

- ・ 導入の際の経費について
- ・ サーバー契約などについて

**A（新見市情報管理課から）**

- ICT絆事業での導入BeeDanceについて
  - ・ 新たに機能が追加され、製品化されています。  
下記を参照してください。
- フューチャースクール推進事業導入の際に要した経費項目
  - ・ 協働学習支援システム開発費
  - ・ 導入設定費
  - ・ サーバー並びに3年サポート
- 現在は開発段階を終えBeeDanceとして製品化されており、学校利用形態に  
合わせ”ライセンス”と”買取”の2形態で提供されています。  
それぞれユーザー規模・学校環境に合わせて価格設定されているため、詳細  
は下記までご連絡ください。

SCSK株式会社 06-6223-8810

<http://www.scsk.jp/product/common/bee/index.html>

株式会社EDUAS 03-6889-1622

<http://www.eduas.co.jp/index.php>